

空気と水のお医者さん **株式会社平和エアテック**

私たちは空気と水を通して、いつも素晴らしい環境を見つめるホームドクターでありたいと思います！



環境活動レポート

(対象期間：2020年1月1日～2020年12月31日)

空気と水のお医者さん



発行日 2021年7月10日

代表取締役 相川 守

■計画の策定 (1) 組織の概要

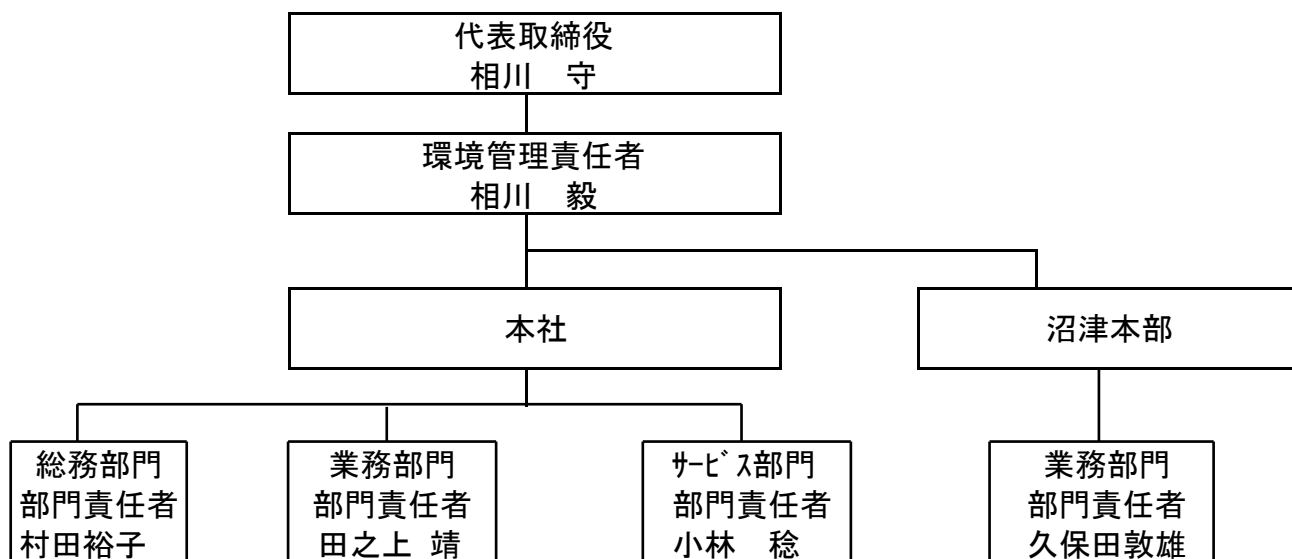
- 事業者名 株式会社平和エアテック
- 代表者氏名 相川 守
- 所在地 本社:静岡県熱海市青葉町3-9
工場:静岡県熱海市紅葉ガ丘町17-21
沼津本部:静岡県駿東郡清水町久米田61-18
- 事業内容 空気調和換気設備の設計施工
冷凍冷蔵設備の設計施工
給排水衛生設備の設計施工
污水处理施設、水道施設の設計施工
浴場濾過装置、プール濾過装置の設計施工
オール電化等各種住宅設備設計施工
上記各施設、機器の保守点検整備、修理施工
- 従業員数 21名 (2020年12月31日現在)
- 環境管理責任者 相川 毅
- 連絡先 TEL (0557)82-8231
FAX (0557)82-6441
(e-mail: web@heiwaairtec.com)
- 建設業許可 管工事業
静岡県知事許可(特-28)第1740号
電気工事業・機械器具設置工事業・水道施設工事業
静岡県知事許可(般-28)第1740号
- 事業の規模 ① 設立 昭和40年2月22日
② 事業規模

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年
売上高	百万円	536	553	732
従業員	人	18	19	21
床面積	本社㎡	624	624	624
	本部㎡	321	321	321

- 事業年度 2月1日～1月31日
- 有資格者 (2019年12月)
- | | | |
|-----------------|---|---|
| 建築設備士 | 1 | 名 |
| 工学会設備士(空調・衛生) | 2 | 名 |
| 1級管工事施工管理技士 | 9 | 名 |
| 2級管工事施工管理技士 | 4 | 名 |
| 1級冷凍空気調和機器施工技能士 | 9 | 名 |
| 2級冷凍空気調和機器施工技能士 | 2 | 名 |
| 建築物環境衛生管理技術者 | 3 | 名 |
| 第二種冷凍機械製造保安責任者 | 1 | 名 |
| 第二種電気工事士 | 6 | 名 |
| 第一種冷媒フロン類取扱技術者 | 5 | 名 |
| 冷媒フロン回収技術者 | 9 | 名 |
| 冷凍空調基幹技能者 | 3 | 名 |
| 消防設備士 | 2 | 名 |
| 2級建築士 | 2 | 名 |
| 給水装置工事主任技術者 | 5 | 名 |
| 下水道排水設備工事責任技術者 | 4 | 名 |

■計画の策定 (2) 対象範囲

- 対象範囲 **全社・全部門**
 ■ レポート対象期間 **2020年1月1日～2020年12月31日**
 ■ 実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者 相川 守	・エコアクション21に関する代表責任者 ・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する ・環境経営管理責任者の任命を行う ・環境経営方針の制定、改訂及び全社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ・環境経営マネジメントシステムの承認 ・経営の課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 相川 毅	・環境経営マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・代表者への報告 ・環境経営マネジメントシステムの承認構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・エコアクション21における文書の作成 ・環境経営項目及び環境経営活動計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・取組に必要な場合の手順書案 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成
部門責任者 田之上靖・小林稔 久保田敦雄 村田裕子	・各部門における環境経営マネジメントの実施 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態の試行及び訓練の実施
全社員	・環境経営方針の確認・理解 ・各個人における環境経営マネジメントシステムの実施

■計画の策定 (3) 環境経営方針

■ 企業理念

株式会社平和エアテックは、設備工事の事業活動を通じ地球環境を守るための環境に配慮した工事およびメンテナンスを積極的に取り組む企業を目指します。

■ 環境方針

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します。
 - ① CO2削減の為の省エネ活動に取り組みます。
 - ② 事業所及び現場で発生した廃棄物削減活動と再資源化推進活動に取り組みます。
 - ③ グリーン商品の調達活動に努めます。
 - ④ オゾン層の保護、温暖化防止に向けフロン回収処理を徹底して行います。
またフロン類排出抑制法に則りフロンガスの漏洩の防止活動に努めます。
 - ⑤ 環境に配慮した商品を積極的に提案しユーザーの省エネ化に努めます。
 - ⑥ ITを駆使した働き方改革・時間短縮・効率化を推進します。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営管理システムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
4. 事業の効率化を推進するために、作業・技術の標準化を進めると同時に先端技術の活用と教育システムの充実に取り組みます。
5. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 平成23年10月 1日
改訂年月日 令和 1年 1月 1日

株式会社平和エアテック
代表取締役 相川 守

4 中期環境経営目標

電力二酸化炭素換算係数：2020年度東京電力(0.457)

	項目	単位	2019年度 基準年（実績） 2019.1～2019.12	2020年度目標 2020.1～ 2020.12	2021年度目標 2021.1～2021.12	2022年度目標 2022.1～2022.12
二 酸 化 炭 素	事業所及び資材置き場での 二酸化炭素削減	Kg-CO2	68,016	-1%	-2%	-3%
	購入電力	KWH	29,800	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	L	23,329	-1%	-2%	-3%
	都市ガス	Nm3	57	-1%	-2%	-3%
廃 棄 物	一般廃棄物の削減	t	2.07	-1%	-2%	-3%
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100	100
水道使用量の削減		m3	168	-1%	-2%	-3%
事務用品のグリーン購入率向上			現状把握	優先購入	優先購入	優先購入
フロンガス回収の徹底		%	現状維持	100	100	100
新規顧客・既存客別分野開拓 (ニュースレター送付による)		件	-	+10	+10	+20
フロン漏洩点検顧客獲得件数		件	-	+10	+20	+20
リモート監視システム導入件数		件	-	2	5	20
排熱回収システムの導入件数		件	-	0	2	5

※以前の一般廃棄物についてコピー用紙の重さ計算が間違っており、1枚55gにて計算していた。
 昨年のデータ見直しをした結果、基準年の一般廃棄物は2.07tとなった。

※ 建築資材等のグリーン購入は目標値設定が難しく活動のみとする

※ 環境にやさしい工事についても目標設定が難しく活動のみとする

※ 環境に配慮した商品の提案についても目標設定が難しく活動のみとする

※ 基準年度の見直しを行った

環境経営計画

- 省エネ補助金を利用した、お客様設備に関する省エネ提案の推進(2件)
- 高付加価値商品（省エネ性能・温暖化係数の低いフロンガス使用機器）の販売促進（販売料の30%）
- ICT・IoT等を活用したリモート監視システム導入の促進（2件）
- IT化による社内ペーパーレス化、リモート会議等による移動等の削減を実施（強化）
- 出退勤管理のIT化を用いた、残業の削減と働き方改革の実施（2020年4月から実施）
- 新規車両購入時の安全装置・燃費効率の高い車両の選択（随時）
- 測定機器の積極導入により、故障・メンテナンス時の効率アップ（2020年1月実施予定）

運用期間（2020年1月～2020年12月）の実績と取組結果の評価

電力二酸化炭素換算係数：2019年度東京電力(0.457)

	項 目	単位	2019年度 基準年 2019.1～2019.12	2020年度 目標値 2020.1～2020.12	2020年度 実績 2020.1～2020.12	評価
化	事業所及び資材置き場での 二酸化炭素削減	Kg-CO2	68,016	65,970	60,367	○
		購入電力	KWH	29,800	29,806	△
		ガソリン	L	23,329	20,093	○
		都市ガス	Nm3	57	60	×
廃 棄 物	一般廃棄物の削減	t	2.07	2.01	1.92	○
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100	○
水道使用量の削減		m3	168	160	206	×
事務用品のグリーン購入率向上			優先購入	優先購入	優先購入	○
フロンガス回収の徹底		%	100	100	100	○
新規顧客・既存客別分野開拓 (ニュースレター送付による)		件	-	+5	4	△
フロンガス漏洩点検顧客獲得件数		件		10	4	△
リモート監視システム導入件数		件	-	1	0	×
排熱回収システムの導入件数		件	-	検討	2021年実施予定	○

取組結果の評価

- 基準年の変更に伴い、評価に×・△が増加した。今後、目標に向けさらに挑戦していきたい。
- 電力については、前年とほとんど変化が無かった。電力の削減については、来年度に予定している本社の建替工事に伴う省エネ設備導入に期待したい。
- 都市ガスについては、前年より増加しているが今後の削減はあまり期待できない。目標からの削除も検討したい
- ガソリンについては、順次行っている燃費の良い車輛の購入等が貢献していると思われる。しかしながら、来年度は社員の増加と現場増加に伴い、移動距離が増えることが見込まれるが、ルート・同乗法などを検討し目標を達成したいと考えている
- 一般廃棄物について昨年までのデータに間違いがあったため修正を行った基準値比で、目標を達成できた。
- 水道については、夏季猛暑が影響したと考えられる。季節変動のため特に対策は考えていない。
- ニュースレターの配布先を既存客+αに変更した。既存客に別の分野もやっている事をアピールし今後仕事の増加につなげていきたい。
- リモート監視システムについては、沼津本部においてテスト導入・調査を実施している。2021年度にはお客様への導入を進めたい。
- 省エネ補助金を用いた高効率空調の提案促進については、申請を実施するも採択されなかった。今後は、補助金利用の方法を吟味し対応していきたい。
- リモート会議等による移動削減を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の関係もあり一挙に進んだ。
- 出退勤管理システム(jinjer)を導入、現在は出退勤管理が主だが、働き方改革につなげていきたい。
- 新規車輛購入時の安全装置・燃費効率の高い車輛の選択は実施されている
- 測定機器の積極導入によるメンテナンス時の効率アップについては、次年度持ち越しとなった
- 排熱回収システムの研究開発・販売を通してさらなる環境保全に取り組んでいきたい。そのための準備を始めている

<次年度目標>

変更なし

※リサイクル率・混廃はセキトランスシステムに確認したところ、75%とのこと。

中期環境経営活動計画

目的	区分	項目	担当	活動項目	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	村田 及川	①消灯の徹底	○	○	○
				②点灯タイマー時間の管理	○	○	○
		空調	小林 川口	①温度設定 夏28° 冬21°	○	○	○
				②クールビズ、ウォームビズ(空調服導入)	○	○	○
				③フィルター定期清掃	○	○	○
				④使用していないエリアの空調停止	○	○	○
				⑤エコシルフィー使用による省エネ	○	○	○
		O A	村田 及川	①不必要時のパソコン電源切り	○	○	△
				②スイッチオフによる待機電力の削減	○	○	△
	その他	村田	①充電式電池の使用	○	○	○	
	ガソリン	作業車	久保田	①エコドライブ	○	○	○
				②エコ整備	○	○	△
③日常・定期点検の実施				○	○	△	
④省エネ・安全装置搭載車の導入				—	—	○	
⑤ドライブレコーダー搭載と確認				△	○	○	
公共工事 50百万円	削減計画 立案	適宜	①施工計画に削減計画反映と活動展開	○	○	—	
廃棄物のリサイクル	事務所	日吉 久保田	①コピー用紙の両面使用	○	○	○	
			②封筒・ファイルの再利用	○	○	○	
			③FAX等のデジタル化	—	—	△	
			④廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	
			⑤3Rの実践	○	○	○	
			⑥使い捨て製品の購入を抑制	△	△	○	
			⑦廃棄物の置き場を設置(直置き禁止)	○	○	△	
	建設副産物のリサイクル	中嶋	①廃棄物の分別化	○	○	△	
			②分別ルート新規開拓	○	○	×	
		③仮設資材、用具のリユース化	○	○	○		
節水	上水	平野 小林	①節水表示	○	○	○	
			②ストップガンの取り付け	○	○	○	
			③節水こまの取り付け	○	○	○	
			④節水商品の購入	—	—	—	
			⑤漏水点検を定期的 to 実施	○	○	○	
グリーン購入	事務用品	村田	①環境ラベル対応品の購入	○	○	○	
			②何回も使える物購入	○	○	○	
			③針なしホッチキスの採用	○	○	○	
	設備資材	中嶋	①グリーン購入対象品優先購入	○	○	△	
フロン回収再生		小林	①フロン排出抑制法に則り徹底回収	○	○	○	
			②フロン漏洩点検の告知及び実施	○	○	○	
			③フロン類回収行程管理票による処理	○	○	○	
			④フロン類の回収後再生の推進	○	○	○	
環境配慮された機器の提供		各自	①高効率空調機の設計提案	○	○	○	
			②高効率換気装置の設計提案	○	○	○	
			③高効率給湯器の設計提案	○	○	—	
			④節水型衛生器具の設計提案	○	○	—	
			⑤フロン漏洩点検実施の提案	○	○	○	
環境経営対応		適宜	①省エネ補助金を利用した提案	—	○	△	
			②設備保守リモート監視システム提案	—	—	△	
			③IT活用によるペーパーレス化	—	△	△	
			④出退勤管理システムの活用による時間短縮	—	△	△	
			⑤ICT活用による保守メンテナンス効率化	—	—	×	
			⑥熱回収による省エネ及び環境保全	—	—	—	

計画の評価と後半取組

目的	項目	活動項目	評価		今後の取組
			評価	内容	
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底	○	徹底されている	継続
		②点灯タイマー時間の管理	○	徹底されている	継続
	空調	①温度設定 夏28° 冬21°	○	徹底されている	継続
		②クールビズ、ウォームビズ(空調服導入)	○	空調服導入・各自工夫あり	継続
		③フィルター定期清掃	○	徹底されている	継続
		④使用していないエリアの空調停止	○	徹底されている	継続
		⑤エコシルフィー使用による省エネ	○	実施している	継続
	O A	①不必要時のパソコン電源切り	△	一部切り忘れがあった	徹底する
		②スイッチオフによる待機電力の削減	△	待機電力状態の機器がある	徹底する
	その他	①充電式電池の使用	○	徹底されている	継続
	作業車	①エコドライブ	○	徹底されている	継続
		②エコ整備	△	車輛管理者により不備あり	徹底する
③日常・定期点検の実施		△	車輛管理者により不備あり	徹底する	
④省エネ・安全装置搭載車の導入		○	入替時に選定している	継続	
⑤ドライブレコーダー搭載と確認		○	運転等に効果が出ている	継続	
削減計画立案	①施工計画に削減計画反映と活動展開	-	該当工事なし	物件発生時対応	
廃棄物のリサイクル	事務所	①コピー用紙の両面使用	○	機器を選定し対応	継続
		②封筒・ファイルの再利用	○	徹底されている	継続
		③FAX等のデジタル化	△	一部対応出来ている	徹底する
		④廃棄物の分別とリサイクル	○	分別されている	継続
		⑤3Rの実践	○	再利用できている	継続
		⑥使い捨て製品の購入を抑制	○	可能な範囲で実施されている	継続
		⑦廃棄物の置き場を設置(直置き禁止)	△	一部直置きされている	改善する
	建設	①廃棄物の分別化	△	一部出来てない	改善する
		②分別ルート新規開拓	×	開拓できず	検討
③仮設資材、用具のリユース化		○	徹底されている	継続	
節水	上水	①節水表示	○	徹底されている	継続
		②ストップガンの取り付け	○	取付済み	継続
		③節水こまの取り付け	○	一部取付済み	継続
		④節水商品の購入	-	購入なし	必要ときに選択する
		⑤漏水点検を定期的に実施	○	漏水なし	継続
グリーン購入	事務	①環境ラベル対応品の購入	○	徹底されている	継続
		②何回も使える物購入	○	品目により実施されている	継続
		③針なしホッチキスの採用	○	徹底されている	継続
	資材	①グリーン購入対象品優先購入	△	一部製品にて対応	継続
フロン回収再生		①フロン排出抑制法に則り徹底回収	○	徹底されている	継続
		②フロン漏洩点検の告知及び実施	○	徹底されている	継続
		③フロン類回収行程管理票による処理	○	徹底されている	継続
		④フロン類の回収後再生の推進	○	徹底されている	継続
環境配慮された機器の提供		①高効率空調機的设计提案	○	初期提案では実施されている	導入へ結びつける
		②高効率換気装置的设计提案	○	実施されている	継続
		③高効率給湯器的设计提案	-	今期案件なし	継続
		④節水型衛生器具的设计提案	-	今期案件なし	継続
		⑤フロン漏洩点検実施の提案	○	増加している	既存客100%を目指す
環境経営対応		①省エネ補助金を利用した提案	△	提案も採択されず	補助金利用の促進
		②設備保守リモート監視システム提案	△	次年度に向け準備(経営革新取得方針)	テスト導入から始める
		③IT活用によるペーパーレス化	△	順次進めている	継続
		④出退勤管理システムの活用による時間短縮	△	導入済み、有効活用に課題	働き方改革に生かす
		⑤ICT活用による保守メンテナンス効率化	×	準備間に合わず。来期へ	システム導入行う
		⑥熱回収による省エネ及び環境保全	-	来期以降実施へ調整	研究開発を始める

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1.環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物適正な処理に関する条例	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	2020.1.10
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	2020.12.18
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は180日以内	2020.12.18
	マニフェストの保管	5年間	2020.12.18
	投棄禁止	不法投棄を行わない	2020.12.18
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	2020.12.18
	保管場所への掲示	60cm×60cm以上掲示	2020.12.18
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	2020.6.27
	産業廃棄物管理責任者の選任	相川 毅	随時
	処分場の実地確認	セキトランスシステム	2020.1.6
建築リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	2020.12.18
騒音・振動規則法	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	2020.12.18
	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	2020.12.18
	地域住民との取り交わし		2020.12.28
家電リサイクル法	指定家電の収集	エアコン・冷蔵庫 他	2020.12.28
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2020.12.28
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2020.12.28
	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2020.12.28
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材料提案	事業者の一般的責務/工事計画書	2020.12.28
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2020.12.28
フロン排出抑制法	関係書類の発行、管理		随時
	定期点検・回収・充填量の記録、報告	3月31日までに県に報告	2020.3.10
高圧ガス保安法	高圧ガス販売許可	高圧ガス容器の点検	2020.1.10
熱海市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別搬出		2020.12.28
清水町一般廃棄物に関する条例	一般廃棄物の分別搬出		2020.12.28
消防法	消防設備設置届の提出		2020.12.28
水道法	給水装置資格者の申請、検査立会		2020.12.28
浄化槽法	保守点検、清掃定期検査	大家による管理	2020.1.31
下水道法	配水設備資格者の申請、検査立会		2020.12.28

2.違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

環境上の緊急対策

訓練実施日 2020年10月10日

項目	想定される緊急事態	対応	訓練	結果
火災	・ 酸素、窒素、アセチレン、フロンボンベなど可燃性ガス漏洩による火災	・ 初期消火の実施 ・ 消防署に連絡 ・ 避難の勧告	・ 消火器の設置管理 ・ 消火器の有効期限確認 ・ ボンベ等転倒防止の確認 ・ ホース、バルブの漏洩検査 本社(8)・本部(3)、参加者11名	OK OK OK OK
酸欠	・ フロンガス漏洩による酸欠状態	・ 換気作業 ・ 酸素濃度測定 ・ 消防署に連絡	・ 換気装置の作動確認 ・ フロンボンベの使用期限確認 ・ フロンボンベの漏洩検査 ・ 室温40℃以下での保管 本社(8)・本部(3)、参加者11名	OK OK OK OK
上水漏れ	・ 配管破裂 ・ 水栓不良	・ 止水栓を閉鎖 ・ 水道課に連絡 ・ 利用水の確保	・ 配管の目視点検 ・ 水栓全閉鎖の後量水器確認 ・ パッキン類の不良確認 本社(8)・本部(3)、参加者11名	OK OK OK



期限内 (2022年)

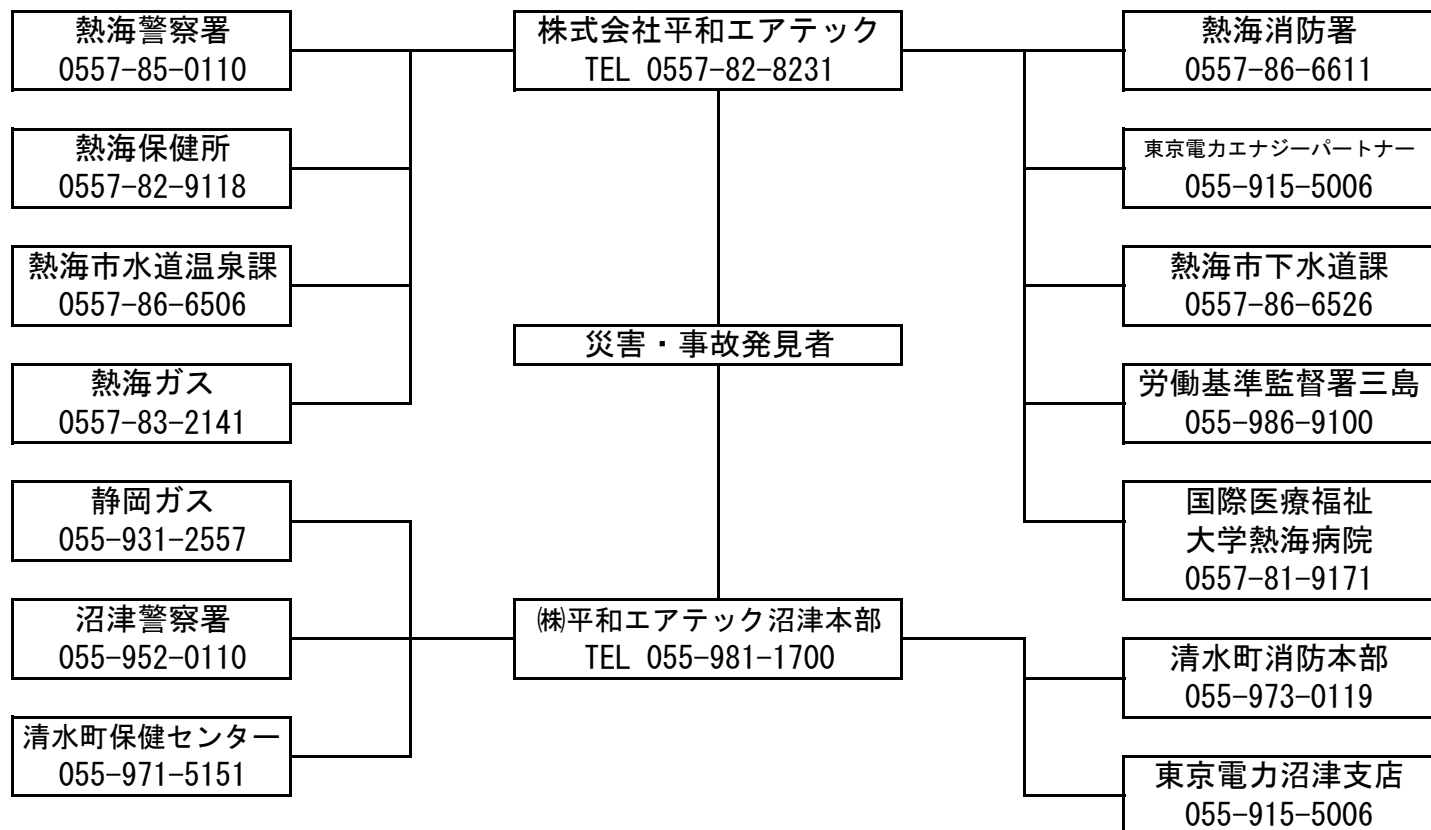


フロンボンベの使用期限確認
全て期限内 OK



量水器確認 (漏水点検)
漏水無し

緊急連絡網



代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価

システムの有効性については、実際の活動に即し非常に役に立っている。また、基準値を2019年に変更し、実態に即した方向の目標設定とした。また、環境経営方針の部分を充実させ、時代即応型の企業を目指し対応していく。法令については、継続して遵守されている。

新たなアイデア・取り組みについては、IT・IoTを駆使したリモート監視や、保守業務の効率化、新しい省エネ技術の習得も環境経営方針に組み込んだ。倉庫内整理等による時間短縮等は進んでいるも、自社のエネルギー削減から、お客様を含めた削減を視野に今後は取り組んで行けたらと思う。

当社は創業半世紀を超え、さらなる地域貢献・環境貢献のため、新たに環境・省エネ事業を事業柱の一つとしてお客様への省エネ・節電・温暖化ガス削減提案活動をより積極的に取り組んで行くとともに、ひとつづくりに邁進していきます。

代表者の指示内容

方針・目標・実施体制は継続とする

活動項目については以下の点を見直しとする

見直し指示

各削減項目も限界に近づいており、2017年度版のガイドラインにもあるように環境経営を掲げ、省エネだけにとらわれない、省力化の新たな目標をしっかりと定めていきたい。また、今まで通り環境に配慮しながら地球温暖化ガスの排出削減もしっかりと推進していく。倉庫については整理されつつあるので、この流れを切らずに在庫管理、効率化、無駄をなくすことを念頭に常に整理されている倉庫を実現したい。

フロン類排出抑制法による定期検査は当社にとって重要な分野であるため、より地域に根付かせるため、積極的なアピールを行っていく。また、引き続き地球温暖化係数の高いフロンガスを漏えいさせぬ様、機器施工のさらなる工夫や確実なフロンガスの回収・再生を行い環境破壊防止に少しでも役立ちたいと考えています。

評価日 2021年1月31日

株式会社平和エアテック
代表取締役 相川 守

2020(2020.1～2020.12)年度教育記録

No.	年月日	主催・会場	教育名	講師	教育内容	対象者(参加者)	備考
1	2020/2/3	本社・本部 (TV会議)	新年度の目標	社長	2020年の目標・方針発表	全員	プロジェクター・資料
2	2020/4/11	NSビル 2Fホール	経営計画発表会	社長	第56期経営方針・事業計画発表	全員	プロジェクター・資料
3	2020/4/30	本社	エコ・アクション反省と目標	専務	エコアクション前年結果の反省を今年度目標について	全員	プロジェクター
5	2020/7/31	本社工場	フロン漏洩防止	小林	フロン回収機取扱確認・整備	現場担当者	実戦訓練
6	2020/10/10	本社	上水漏・火災・酸欠訓練	専務(環境管理責任者)	1.漏水検査(メーター確認) 2.止水栓閉鎖、連絡先の確認 3.消化器の期限確認 連絡先の確認	本社・本部 現場職員	特に問題無し
7	2020/12/28	本社・本部 (TV会議)	エコ運転	専務(安全運転管理者)	1.ドライブレコーダー記録を見てエコ運転の実施状況を確認	全員	プロジェクター・PC
8							
9							
10							